



共に歩んだ 50 年をお祝い

平成 31 年度金婚式表彰

町は、松前、北伊予、岡田の各地区の老人クラブ総会に併せ、結婚 50 周年の金婚式を迎えるご夫婦をお祝いしました。

本年度該当となった 36 組のご夫婦に、岡本町長からお祝い状と記念品を贈呈。会場からは温かい拍手が送られ、半世紀の夫婦の絆をお祝いしていました。26 ページで、金婚式を迎えるご夫婦(岡田校区)を紹介します。

㊤金婚者との記念撮影(北伊予)

㊦町長から記念品を受け取る(松前)



三好さんに感謝状贈呈

総務大臣感謝状贈呈式

「総務大臣感謝状贈呈式」は 4 月 8 日、役場で行われ、元行政相談委員の三好健二さん＝東古泉＝に勝山寛愛媛行政監視行政相談センター所長から感謝状が贈呈されました。

この感謝状は平成 25 年 1 月に行政相談委員に委嘱されて以降、町民の身近な相談窓口として尽力した三好さんの功績をたたえて贈られたもの。感謝状を受けて三好さんは、「大変光栄なことと思います」と話していました。



＊瑞宝双光章
うえた・つねみつ
上田 常光さん
元北伊予小学校長 88 歳 昌農内



上田常光さんに瑞宝双光章

高齢者叙勲

政府は 2 月 1 日付けで「高齢者叙勲」を発表し、本町から元北伊予小学校長の上田常光さん＝昌農内＝が受章しました。

上田さんは、戦後の社会の混乱を見て教職を志し、昭和 29 年から県内小中学校で教鞭をとりました。特に中学校では 3 年生の進路指導に力を入れるなど、児童生徒の健全育成のために尽力。平成元年から退職までは、北伊予小学校長を務めました。

上田さんは受章に対し、「教育の根本は子どもを愛すること。生涯の大部分を教育に携わることができて幸せに思う」と話していました。



写真で我がまちの魅力発信

まさきええとこ写真展記念品贈呈式

「まさきええとこ写真展」の記念品贈呈式は 3 月 22 日、エミフル MASAKI で開催されました。

この写真展は、「まさき—いいとこ見つけ隊」が町の魅力を発信するために、住民から町内の「ええとこ」を収めた写真を募集して行ったもの。贈呈式では、応募総数 38 点の中から大賞に選ばれた「仲良し家族」の撮影者、足立明さん＝上高柳＝ほか応募者の皆さんに記念品が贈呈されました。



㊤贈呈式後、笑顔を見せる足立さん。「仲良し家族」は、夕暮れ時の塩屋海岸で家族の仲睦まじい姿を収めたもの



新生活がスタート

入園式・入学式

町内の小中学校の入学式は 9 日、町立幼稚園の入園式は 11 日に行われました。新入生たちは上級生らに温かく迎えられ、期待に胸を膨らませながら新生活をスタートさせていました。



5_「今日から松前っ子だよ。よろしくね」お兄さんお姉さんに歓迎を受ける(松前小学校) 6_ みんなで一緒にチューリップのお歌を歌うよ(松前幼稚園) 7_ お母さんと一緒に初めての教科書を確認(北伊予小学校) 8_ 緊張したけど最後まで頑張ったよ(古城幼稚園)



1_ 真新しい制服に身を包み、入場(松前中学校) 2_ 名前を呼ばれて元気にお返事できるかな(岡田小学校) 3_ 祝辞に耳を傾け、新生活への期待が高まる(北伊予中学校) 4_ 「充実した中学校生活を送りたいです」新入生を代表して誓いの言葉を述べる(岡田中学校)



入園・入学
おめでとう





区長が兵庫県で研修

平成 31 年度統括広報委員研修

各地区の区長で構成する統括広報委員会は、4月11、12日の両日、兵庫県で研修を行いました。

今回の研修のテーマは「地域防災力の向上」。1日目は、神戸市の「人と防災未来センター」を訪れました。同センターは、阪神・淡路大震災の経験を語り継ぎその教訓を未来に生かすことを目的に、兵庫県が設置したものです。ここでは震災直後の町並みを再現した展示物や映像を見たり、被災者の体験談を聞いたりしながら震災を追体験しました。

2日目は、津波に対する防災意識を高めるため、南あわじ市の「福良港津波防災ステーション」を訪問。ここでは、津波の発生からその破壊力までを映像で学習したり津波の高さを体感したりすることで、災害発生時における避難の大切さを再認識しました。

研修に参加した皆さんは、地域における防災意識を高め、平時に備える必要性を改めて実感していました。



㊤「人と防災未来センター」に到着
㊦被災者の体験談を聞く
㊧「福良港津波防災ステーション」前で説明を受ける



当時の級友と懐かしの校舎見学

松前中学校校舎の一般公開

松前中学校校舎の一般公開は3月29日から31日までの3日間、希望者を対象に行われ、256人が訪れました。

この一般公開は、7月開始予定の校舎改築工事を前に卒業生や地域の人に思い出の校舎を懐かしんでもらおうと行われたもの。現北校舎が新築された昭和29年に3年生だったという見学者の皆さんは、「懐かしいなあ」と目を細めながら校舎を周り、すっかり学生時代に戻って楽しんでいました。

㊨当時の教室を懐かしむ ㊩思い出のらせん階段前で



大きくなってまた会おうね

エミホタルの里「ホタル幼虫の放流イベント」

「ホタル幼虫の放流イベント」は4月7日、エミフルMASAKI内の「エミホタルの里」で行われました。

このイベントは、住宅地の河川では見られないホタルを人工川で育成し、子どもたちに学習の場を提供しようと毎年行われているもの。参加した子どもたちは、幼虫の成長を願いながら一斉に放流しました。6月上旬には、成虫になって美しく光るホタルが見られる予定です。

㊪ホタルの幼虫 ㊫みんなで一斉に幼虫を放流する

